

特集

さとやま通信 sa to ya ma tō shin

このまちでの暮らしどもっと楽しもう！

あなたが暮らす居住地のすぐそばに里地里山があることをご存じですか。

市では、鹿背山地域にある学研木津北地区において、里地里山の景観再生と生物多様性を保全する「里地里山の維持再生ゾーン」の実現に向け取組みを進めています。

この取組みを皆さんに紹介するため、2012年5月から「さとやま通信」の掲載をしています。今回は、皆さんに里地里山の素晴らしさをもっと知っていただくため、この2年を振り返ってみます。



これまでの里地里山

家庭で使う薪や炭、山菜などの食料、きれいな飲み水、そして水田や畑など古くから里地里山は人々の生活になくてはならないものでした。

また、里地里山には、多様な動植物が生息・生育し、人間も含めて、全ての生物が生活しやすい環境でした。



お金では買えない価値

自然の恵みは、一度消費してしまえば終わりという使い捨ての資源ではなく、繰り返し利用ができる持続可能な資源です。

特に「里山の維持再生ゾーン」は、日々の生活にやすらぎを与える景観の形成や、生き物観察や野外学習などの楽しみを提供する場としても、その価値が見直されています。

そこで、この里地里山の景観再生と生物多様性の保全を目的として、「生物多様性木津川市地域連携保全活動計画～みもろづく鹿背山再生プラン～」を策定しました。

この計画は、市内の図書館に配架しているほか、市ホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



潤いのある暮らしの危機

しかしながら、自然の恵みを必要としないライフスタイルへと変わったことで、人間が里地里山から遠ざかり、森の砂漠化(※)が起きています。

また、植生が変化し、竹林が侵食するなど、荒廃が進んでいます。

さらに、里地里山の環境は、安心・安全な暮らしにも大きく関わっており、適切に管理しないと土砂災害をもたらすことや、洪水・渇水などの要因となることが分かってきました。

※手入れがなく、下草が生えず、表土が流され、雨水を貯える力が弱まった森林のこと。



オオタカ

カスミサンショウウオ

子や孫の未来のために、古くから日常の風景だった里地里山という財産を引き継いでいきたいものです。

次ページからは、さらに詳しく活動内容を紹介します。

京都発・竹・流域環境ネット



放置竹林を整備し、切り出した竹を活用することで、地区の自然環境を守る活動をしています。

- 主な活動日：9月～5月の平日
- HP : <http://www.kyoto-takenet.org>
- 連絡先 : ☎090-5057-3780 (吉田)

鹿背山の柿を育てるネットワーク



鹿背山といえば、柿。その柿の木1000本を育てています。秋には毎年絶品の柿が味わえますよ！

- 主な活動日：春(剪定)・秋(収穫)【不定期】
- 連絡先 : ☎72-2704 (松岡)

木津の文化財と緑を守る会



木津にはまだまだ知られざる歴史があります。その歴史を調べ、文化財を守っていく活動をしています。

- 主な活動日：主な活動日：月2回程度 (11月～6月)
- HP : <http://kizul978.info/>
- 連絡先 : Fax72-0014 (岩井)

活動紹介

この里地里山では、6つの団体が活動しています。

■ウッドデッキ制作【鹿背山元気プロジェクト】

●ウッドデッキを活用して

ウッドデッキには、自然と人を集めの魅力があります。

デッキニアに寝転んでのんびり読書したり、子どもといっしょに遊んだり、活用法はいろいろあります。ウッドデッキは、いろんな場面で大活躍です。そんなウッドデッキを、平成25年11月23日(土)と12月21日(土)の両日で2基を制作しました。

●制作場所の選定が重要

ウッドデッキからの眺めをよくするため、周囲より高い場所で比較的平原な場所を探し、足場の状態を確認します。ようやく見つけた制作場所には、大きなヤマザクラがあり、春には花見ができる期待して制作に取りかかりました。

骨組みが完成し、床板を並べるまでに3時間程度を要し、全ての作業が完了するまでには5時間程度かかりました。

●オンリーワンのウッドデッキ

鹿背山元気プロジェクトは、環境教育学習にも取り組んでいることから、活動地には、滑り台やハンモックなどの楽しい遊具があります。このウッドデッキにも、子どもたちが興味を持つ工夫として、物見ハシゴも取り付けられました。でき上がった物見ハシゴは子どもたちに大人気で、夕方まで遊ぶ子どももいました。

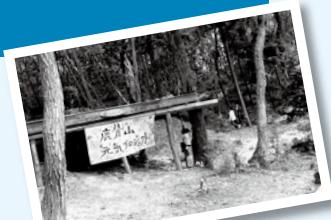
会員の中村さんは「里山は人の手を入れることで、楽しい場所になる。今後も、里山の魅力を多くの方に情報発信し、子どもから大人まで誰もが楽しめる活動地にしたい」と話していました。

鹿背山元気プロジェクトにご興味のある方は、次へ問い合わせください。

問合せ 鹿背山元気プロジェクト(担当:中村)

URL:<http://kaseyama.blog.so-net.ne.jp>

E-mail:nnet@mbox.kyoto-inet.or.jp



■冬の里山体験活動【こどもエコクラブサポーターの会】

●子どもたちへの環境学習として

こどもエコクラブは、年3回このゾーンで里山体験活動をおこなっており、去る2月23日(日)に、鹿背山元気プロジェクトの活動地で、そば団子汁作りと果樹の植樹をおこないました。

●採れたての野菜の甘さを体験

そば団子汁作りのそば粉は、子どもたちが種まきをし、育てたものを使用しました。野菜は、地元産にこだわり地元の「トントロリ農園」の有機栽培野菜や花野果市のものを使用しました。はじめに、この農園の平林さんから「今の時期は、花を咲かすために、力を蓄えていて野菜が甘くなっている」とお話を聞き、採れたてのかぶ、ほうれん草をかじってその甘さを味わいました。できた団子汁も野菜のうまみたっぷりで、子どもたちは何度もおかわりしていました。





●植樹のおまけ？

柿畠の一角にミカンの苗を植樹しました。苗は、うまく育てば3~4年後には実をつけるそうで、今後の活動日には、その成長を観察する楽しみができました。植樹した場所では、野ウサギの糞がみつかり、畠の腐葉土の中からカブトムシの幼虫をたくさん見つけることができました。

●里山遊びを満喫

子どもたちの最大の楽しみは、作業の合間の自由な遊び時間です。鹿背山元気プロジェクトの皆さんがあなたたちの木や竹のブランコ、滑り台、シーソーなどの遊具をはじめ、山の斜面、小枝や落ち葉などあらゆるもののがおもちゃとなり、活動地内を全力で走り回っていました。

こどもエコクラブでは、このほか春に鹿背山俱楽部の活動場所で水生生物観察会をおこなっています。学研木津北地区で活動されている他の団体の協力を得て、子どもたちは、里山の自然のよさ、人が山の手入れをする大切さを学んでいます。

こどもエコクラブに興味のある方は、次へ問い合わせください。

問合せ リサイクル研修ステーション ☎75-2140

E-mail:kizugawa-res@city.kizugawa.lg.jp

■農業体験しませんか【鹿背山俱楽部】

3回シリーズ

「プチ里山農業体験」参加者募集

鹿背山俱楽部は、里山大好き人間が集まり、自然との触れ合いを大切にして、スローライフを実践しています。

親子を対象とした第2回「プチ里山農業体験」を企画しました。

今では、懐かしい手植えの田植えや鎌での稲刈りと稻架掛け、杵と石臼での餅つきを体験することができます。普段体験できない、時間を過ごしてみませんか。

第1回	田植え	6月 7日(土) 午前10時～午後3時
第2回	稲刈り	10月25日(土) 午前10時～午後3時
第3回	餅つき	12月13日(土) 午前 9時～正午

ところ 鹿背山俱楽部活動地(鹿背山中切川周辺)
※参加者には詳細地図を送付します。

対象 小学生以上の家族連れで3回を通して参加できる方

定員 約10人(先着順)

参加費 ひと家族2,000円(3回分、ボランティア保険代・通信費等含む)
※別途昼食代が必要です。

大人500円・子ども300円

申込・問合 5月16日までに、①代表者の住所・氏名・電話番号②参加者全員の氏名・年齢・続柄をE-mailでkaseyamaclub@gmail.comへ。

その他 ・各回ごとの申し込みはできません。
・参加の可否は後日、代表者に連絡します。

1日里山農業体験者募集

5月24日(土)の活動日に「1日里山農業体験(大人の男女が対象)」の参加者を募集します。会員と一緒に、いい汗をかいてみませんか。初めての方も大歓迎です。

ところ 鹿背山俱楽部活動地(鹿背山中切川周辺)
※参加者には詳細地図を送付します。

対象 どなたでも参加できます。

定員 約10人(先着順)

参加費 無料 ※別途昼食代500円が必要です。

申込・問合 5月12日までに、住所・氏名・電話番号をE-mailでkaseyamaclub@gmail.comへ。

その他 参加の可否は後日、連絡します。

